This Page Is Inserted by IFW Operations and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning documents will not correct images, please do not report the images to the Image Problem Mailbox.

19 日本国特許庁 (JP)

①特許出願公開

⑩公開特許公報(A)

昭58—165980

⑤ Int. Cl.³
B 25 J 9/00

識別記号

庁内整理番号 7632-3F **砂公開** 昭和58年(1983)10月1日

発明の数 1 審査請求 未請求

(全 5 頁)

匈ワーク定置形組立口ポツトシステム

顧 昭57-46822

②出 願 昭57(1982)3月23日

@発 明 者 藤田成良

创特

大阪市西淀川区御幣島3丁目2 番11号大福機工株式会社内

å *"*

@発 明 者 木内尚之

大阪市西淀川区御幣島3丁目2番11号大福機工株式会社内

切出 願 人 大福機工株式会社

大阪市西淀川区御幣島3丁目2番11号

.3

明 神 有

1. 発明の名称

ワーク定置形植立ロボットシステム

2. 特許請求の報酬

ワークを支持する組立作業合を定位置に設置し、 、複数機の部品を夫々定位置に支持するパレット を、約記組立作業合の側方定位置に供給する難送 手段を設け、この定位置に供給された前記パレット上の複数個の部品を、前記組立作業合上のワークに順次組付ける組立用マニピュレータを配数して成るワーク定置影組立口ボットシステム。

3. 発明の詳細な説明

本発明は、ワークを定位置に設置した状態で、 値ワークに対する複数側の都品の銀付け作業をマ ニピュレータによって自動的に行う組立ロボット システムを提供するものである。

以下、本発明の一変施例を挙付の例示器に基づいて説明すると、第1因乃至第3因において、1 a、1bは、組立作業合2の左右両側に配数されたマニピュレータであって、夫々組立作業合2と 平行な矢印る方向に、モーター15によって駆動 される粒子雑16により移動せしめられる可能台 4上に設置されている。5a, 5bは、各マニピ ュレータ1a.1bの一側方に配数された工具文 持手段であり、6は、両マニピュレータ1a.1 bの他側方に配数された部品散送用コンペヤであ って、定位量に定姿勢で各種都品7を支持するパ レット8を矢印9方向に散送し、各マニピュレー タ1a,1bに対応する所定位置A,Bに鉄パレ ット8を停止させることが出来る。10は、エン ジン11の両端下部を支持するエンジン支持用ア タッチメント12を備えたエンジン難送台車であ り、メインライン13から分岐ライン14を経由 して組立作業台2脇の所定位置Cにエンジン11 を搬入し、又、組立完了後のエンジン11を分岐 ライン14からメインライン18を経由して所定 の場所へ搬出する。17は、所定位置Cに停止す るエンジン撤送台車10上と組立作業台2との間 でエンジン11を移職するエンジン移業手段であ り、ガイドレール18に支持され且つモーターに

持開昭58-165980(2)

よって駆動される左右一対の独子軸21によって 矢印19方向に移動せしめられる移動合車20と 、この移動台車20に昇降ガイドロッド22を介 して昇降自在に支持され且つシリンダーユニット 25によって昇降移動せしめられる昇降台24と 、この昇降台24に数けられた関閉自在なエンジ ン吊り下げ具25とから構成されている。

٠.

前記組立作業合2は、モーターにより正逆任意の方向に回転駆動させることの出来るターンテーブル26上に、前後一対のエンジンクランプ27を、共選水平軸心28の周りでモーター等により任意角度回転駆動させ得るように、前後一対のプラケット29を介して支持せしめて成るものである。

前記工具文持手段 5 a , 5 b は、第 1 図、第 4 図、及び第 5 図に示すように、夫々複数 額の各種工具 5 0 を定位置に被合保持する凹部 5 1 を並設したパレット 5 2 と 定位置に者脱自在に支持する支持合 5 3 とから成り、前記凹部 5 1 には、工具 5 0 の角柱状本体 5 4 が移

マニピェレータ1 a、 1 b は、そのアーム先端に工具自動着脱結合部 3 9 を備えている。この工具自動者脱結合部 3 9 は、第 6 図及び第 7 図に示すように、前記工具 3 D の結合用雄部付 3 8 が相対回転不能に嵌入する結合用離れ 4 1 と、この離れ 4 1 に嵌入した結合用雄部付 3 8 の被係合凹部 3 8 a に対して複合離脱自在なロックピン 4 2 と

、このロックピン42を出通移動させるシリンダーユニット43と、 約記結合用線部材38が前記離孔41内に嵌合し且つロックピン42によってロックされたとき、約記各端子40に圧接する給電、信号接受用端子44とを備えている。

次に使用方法を裁明すると、組み立てるべきエンジン11を、搬送台車10により組立作業台2時の所定位置でまで搬送し、次に移稿手段17の昇降台24の昇降車輌、吊り下げ具25の開閉運輸、及び移動台車20の移動により、搬送台車10上のエンジン11を、組立作業台2上の一針のエンジンクランプ27間に搬送し、そして終エンジンクランプ27間で支持させる。

一方、必要な都品 7 をセットされた パレット 8 は、コンペヤ 6 によって各マニピュレータ 1 a, 1 b 脇の所定位置 A, B まで置送されている。かかる状態において、両マニピュレータ 1 a, 1 b が、そのアーム先端の工具自動者脱結合部 5 9 にセットされている工具 5 0 により、マニピュレー

タ1aは所定位置Aにあるパレット8上の部品7を、そしてマニピュレータ1bは所定位置Bにあるパレット8上の部品7を、夫々取り出して、組立作業合2上のエンジン11の所定箇所に組付けるべく、予め学習記憶させてある運動プログラムに基づいて自動運転される。

具支持手段5 a . 5 b のパレット 3 2 内にセットされている。そして、都品組付け作業プログラムに予め組み入れられた工具交換指令に基づいて、マニピュレータ1 a . 1 b は、保持している工具支持手段5 a . 5 b におけるパレット3 2 の空の凹部 3 1 内に飲合させ、かかる状態でシリンダーユニット 4 3 によりロックピン 4 2 を抜出移動させた後、工具自動着脱結合部 3 9 の組されるべく、鉄結合部 3 9 を真上に移動させる。

. 1

1

このように保持している工具30を、工具支持手段5a,5bの所定位置に戻した後、マニエ其30ヶ人に取り付けるべき工具30をその工具自動者融結合都39に結合する。即5、工具自動者融結合都89か目ののは、な工具自動者融結合都39か目のでロックにかも、シリングーユニット43が映作動してロックにシ42を被係合数結合都39の結果、工具自動者政結合のの

囃子 4 4 と工具 3 0 例の囃子 4 0 とが圧接し、工具 3 0 の駆動用モーター 3 7 により、その工具へッド 3 6 をプログラム通りに作動させることが出来る状態となる。

又、両マニピュレータ1 a、 1 b は、夫々独立した部品組付け作業の他、互いに協同して次のような複合作業を行う。即ち、第8 図に示すように一方のマニピュレータ1 a には、その工具自動者脱結合都る9にセットされた工具30 a によりク

7

8

ランプした大部品7aを、エンジン11の所定位 量(両者のポルト孔が合致する位置)に移植する と共にその位置に鉄部品7aを保持せしめる作業 を行わせ、他方のマニピュレータ1bには、その 工具自動者動結合部39にセットされた工具30 bによりクランプしたポルト7bを、前紀マニピ ュレータ1aによって保持されている状態の部品 7aのポルト孔に嵌合させる作業を行わせ、更に このマニピュレータ1bには、工具30bを、ポ ルトランナーる6cを増えた工具るOcに交換す る作業と、当該工具も0cにより前記ポルトプト を禁じ込むポルト締め作業とを行わせる。このよ うな複合作業により、例えばマニピュレータ1a による都品7aの保持作業がなければ、当該都品 7aが落下してしまうような場所での都品取り付 け作業も支険なく行わせ得る。

従来の組立用マニピュレークを使用した組立ロボットシステムでは、夫々単一都品の組付けを行う複数合のマニピュレータを、ワークの搬送経路にそって過当職器できた配数し、ワークを各マニ

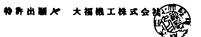
ニピュレータの稼動率を大巾に高めることが出来 る。又、一つのワークを組上げるのに要する数像 の占有床面積も無減する。

更に、従来のシステムでは、それを構成するロボット(マニピュレータ)の内、1台でも故障すると、システム全体の稼動が停止する恐れがあったが、本発明システムでは、ロボット(マニピュレータ)の停止は、それを有する小システムのみの停止となり、全体の稼動率には大きな影響を与えないで済む。

尚、本発明の実施に際しては、マニピュレータにおける工具の自動交換システムは必須要件ではない。例えば、必要な工具の繊額が少なければ、マニピュレータのアーム先端部に、選択的に使用し得る複数の工具を取付けておくことも出来るし、更に一合の組立作業合に所属するマニピュレータの合数を増加すれば良い。

4. 図面の簡単な説明

第1回は全体の平面図、第2回は一部切り欠き 正面図、第3回は一部切り欠き側面図、第4回は 工具支持手段とマニピュレータのアーム先端部とを示す機断側面図、第5図は同級断正図図、第6図は工具とマニピュレータとの結合部を示す機断面図、第7図は同機断面図、第8図及び第9図は作業状態を示す側面図である。



1 1

